

令和 2 年 4 月 8 日  
グローバル教育支援機構  
大学教育支援部門

## 遠隔授業等の活用に関するガイドライン（令和 2 年 4 月 8 日版）

令和 2 年度前学期における学部・大学院の講義等では、遠隔授業等の活用が求められます。本ガイドラインは遠隔授業等の実施のために授業内容を見直す際の指針を示すものです。

なお、遠隔授業等の実施については、学内規則等を今後整備する必要がありますが、令和 2 年度前学期における全学的な遠隔授業等の実施状況を調査した上で整備するものとし、当面の間、遠隔授業等の活用については本ガイドラインに基づき実施して頂くようお願いいたします。

### 1. 遠隔授業等の形態

#### (1) 同時双方向型授業

テレビ会議サービス等を用いてインターネットを介して映像等により教員と受講生が同時にコミュニケーションできる環境で授業を行う型のものです。これには、学生の居る教室から行う同時中継のものと、教員が学生の居ない場所から行うものがあります。

#### (2) オンデマンド型授業（教材提供型授業）

同時又は双方向ではない遠隔授業等の形態による授業の方法。例えば、学生が都合のよい時間帯にあらかじめ指定した教材や、インターネット上（WebClass などの LMS 等）に置かれた文書・音声・写真・動画などの資料を見ながら学修します。

### 2. 遠隔授業等の実施の際の留意事項

#### (1) 同時双方向型授業

大学設置基準では、授業を実施するに当たっては、面接授業に相当する教育効果を有すると認められる必要があり、以下のような事項について配慮することが望ましいです。

- ・授業中、教員と学生が、互いに映像・音声等によるやりとりを行うこと。
- ・学生の教員に対する質問の機会を確保すること。

教員からの一方向の情報提供になる場合は、授業後すみやかに、設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導と学生の意見の交換をインターネットなど適切な方法を利用し機会を設けてください。

画面では黒板の文字が見づらい等の状況が予想される場合には、あらかじめ受講生に教材（pdf や Word のファイル、教材の URL を受講生に通知）等を準備するなどの工夫をしてください。

#### (2) オンデマンド型授業（教材提供型授業）

大学設置基準では、

- ① 毎回の授業の実施に当たって、指導補助者が教室等以外の場所において学生等に対面することにより、又は
- ② 当該授業を行う教員若しくは指導補助者が当該授業の終了後すみやかにインターネットその他の適切な方法を利用することにより、設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導を併せ行うこと

が必要とあります。

②の場合、学生からの課題提出や質問の受付及び回答、学生間の意見交換等についても、メールやWebClass を利用しインターネット等を通じて行えるよう準備して下さい。質問の受付及び回答については、よくある質問とそれに対する答えについてあらかじめ提示しておき、それ以外の質問について担当教員又は指導補助者が回答するといった手法も考えられます。

また、オンデマンド型授業の場合には、通常の授業での学習量を考え提示する授業の資料は、1 回分だと明確にわかるようにする必要があります。

教科書による学修を自宅において行わせる場合でも、例えば、1 回分に相当するページを指定し、その部分を学習するに際しての目的やねらい、教科書を読むに当たっての留意点や、必要な視点・観点などをシラバス等で示すなどを行って下さい（琉球大学 URGCC FD ガイド 第5巻 遠隔授業編 <http://www.ged.skr.u-ryukyu.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/4bb141aa86a6e2b12dceaeac99da5e1a.pdf>）。

同時双方向型授業、オンデマンド型授業のいずれの場合も1 単位の学修時間が45 時間である単位制度の趣旨を踏まえ、たうえで課題等を課すなど学修時間を確保してください。

なお、すべてを遠隔授業で実施することも想定されます。

### 3. 学生への周知

学生には、「授業開始時期や授業の方法等は、各科目のシラバスに明記されています」と通知しますので、遠隔授業等を実施する際は、その詳細はシラバスへ記載をお願いします。

### 4. 著作権について

遠隔授業等の実施の際には著作権について留意をお願いします。詳細は「学校における教育活動と著作権」をご覧ください。

[https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/pdf/92916001\\_01.pdf](https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/pdf/92916001_01.pdf)

### 5. 学生への配慮

自宅でのインターネット環境がない学生、PC を持っていない学生については、調査の結果、多くはないと想定していますが、問題があれば教育支援課までお問い合わせください。

その他、ご不明な点は教育支援課教務係までお問い合わせください。

kykyomu@acs.u-ryukyu.ac.jp

## 資料編

授業準備にあたって、下記情報をご活用ください。

教務情報システムを利用した教材の配信方法

<http://rais.skr.u-ryukyu.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/2020/04/teacher.pdf>

先生のための WebClass 入門

- ・ テスト作成編
- ・ レポート課題作成編
- ・ 資料作成編
- ・ アンケート作成編

上記 4 点の WebClass の使い方動画が、以下の WebClass の HP に掲載されています。

<https://www.datapacific.co.jp/webclass/support/manual/index.html>

PowerPoint でナレーションを録音する方法

<https://dekiru.net/article/16455/>

PowerPoint でプレゼン動画を作成する方法

<https://mypage.otsuka-shokai.co.jp/contents/business-oyakudachi/pc-techo/2014/201410.html>

授業のための動画作成——急場をしのぐためのスイスイ動画作成術

(YouTube を活用した動画公開方法です。)

[https://youtu.be/as400T5bJeY?fbclid=IwAR3VIVepbwnn39PD8aNG0j4mGK21h3qI3KioZwwj5wLfvGnT54r\\_31ryIMw](https://youtu.be/as400T5bJeY?fbclid=IwAR3VIVepbwnn39PD8aNG0j4mGK21h3qI3KioZwwj5wLfvGnT54r_31ryIMw)

授業のための動画作成 2 ——急場をしのぐためのスイスイ動画作成術

<https://www.youtube.com/watch?v=36s20U-eIzE>